

府内小・中学生の作品3点が優秀賞を受賞 ～土砂災害防止に関する絵画・作文の受賞者の決定について～

- 国土交通省と京都府では、土砂災害防止月間（6月1日～6月30日）における取組の一環として、土砂災害防止に関する絵画・作文を募集しました。
- 府内の小・中学校から応募があった89作品の中から3点が「優秀賞（国土交通事務次官賞）」に選出され、3月に各学校において表彰式を開催しますので、当日の取材をお願いします。

1 受賞内容及び表彰式

受賞内容			表彰式		
表彰区分	受賞者	部門	日時	表彰会場	伝達者
優秀賞 〔国土交通事務次官賞〕	なかやま あおい 中山 葵 さん (京都市立朱雀第三小学校2年)	絵画 (小学生の部)	3月12日 (火) 16:00～	京都市立朱雀第三小学校 (校長室) 京都市中京区壬生松原町81	京都土木事務所 所長 やまのえ とおる 山之江 亨
	ながの けい 長野 京 さん (京都市立桂坂小学校6年)	作文 (小学生の部)	3月8日 (金) 11:00～	京都市立桂坂小学校 (カザラックルーム) 京都市西京区御陵大枝山町二丁目1-52	乙訓土木事務所 所長 はしだ ようすけ 橋田 洋介
	ましも ほのか 眞下 穂香 さん (舞鶴市立加佐中学校3年)	作文 (中学生の部)	3月11日 (月) 12:15～	舞鶴市立加佐中学校 (3年生教室) 舞鶴市字岡田由里20番地	中丹東土木事務所 所長 ほそい こういち 細井 浩一

2 その他

- ・表彰式当日に車でお越しの方は、駐車場を御利用ください。
- ・作品については、京都府砂防課のホームページで公開します。

URL : <https://www.pref.kyoto.jp/sabo/news/dosyasaigaiboushinozyusyounituite2024.html>

※作品データの提供を御希望の場合は、下記問合せ先まで御連絡ください。

<参考>

①応募作品数（令和5年度）

	絵画		作文		計
	小学生	中学生	小学生	中学生	
全国	1, 233	1, 235	467	733	3, 668
京都府	22	37	4	26	89

②直近の京都府における受賞者数

- 令和4年度 … 優秀賞(国土交通事務次官賞) 1名(絵画/小学生)
- 令和3年度 … 優秀賞(国土交通事務次官賞) 1名(絵画/小学生)
- 令和2年度 … 優秀賞(国土交通事務次官賞) 1名(絵画/中学生)
- 令和元年度 … 優秀賞(国土交通事務次官賞) 2名(作文/小学生及び作文/中学生)

【本報道発表に関するお問合せ】

建設交通部砂防課 課長 小松 靖彦 TEL 075-414-5310



「どしゃくずれがきたら、よこにむかってにげよう」

京都府 京都市立朱雀第三小学校 2年 中山 葵



京都府

京都市立朱雀第三小学校

小学校

2年

中山 葵

「どしゃくずれがきたら、よこにむかってにげよう」

「土砂崩れから身を守るには」

京都府 京都市立桂坂小学校 6年 ^{ながの}長野 ^{けい}京

桂坂の北側、特に小学校、中学校の山側は土砂崩れの危険があります。インターネットで調べたところ、この辺りは危険な場所指定されていることが分かりました。そこで、土砂崩れから身を守る行動を調べました。

土砂崩れから身を守るにはまず、日頃の備えが必要です。たとえば、避難所の確認、避難所までの道順を決めておく、危険な場所を確かめておく、逃げ方を覚える、避難訓練に参加する、などなど日頃の備えが大切だということが分かりました。そして、土砂崩れへの対策として、大雨が降り出したらテレビやインターネット、スマートフォン、アプリなどの「土砂災害警戒情報」に注意するようにしたいと思います。そして、自分の住んでいる地域に警戒レベル4（避難指示）が発令されたら、地域の防災活動をしてきている（大人の）人達と一緒に近くの人達に声をかけ停電や断水などの状況を確認しながら在宅避難や避難所へ誘導などの手伝いが出来たらいいなと思いました。お年寄りや障害のある人、小さな子供達が近所にいるので、警戒レベル3（高齢者等避難）が発令されたぐらいのタイミングでは、そうした人たちは大丈夫だろうかという気持ちを、いつも持っていたいと思いました。

京都府マルチハザード情報提供システムの土砂災害警戒区域の地図や京都市の土砂災害ハザードマップを見てみると私の通う桂坂小学校は体育館の真上、西側の山が赤色で特別警戒区域の急斜面に指定されていることが分かりました。もし私たちが学校にいるときに大雨が降ってきて閉じ込められたとして、山の急斜面が崩れて土砂が流れ込んできたら？大雨で下校できずに体育館に集合避難をしているときに、大量の土砂が流れてきたら？考えただけで、とても怖いことですし、異常気象が増えてきている近い将来には起こることだと思っていなくてはいけないことだと気づきました。さらに隣の大枝中学校から北側の校庭も土石流の警戒区域に指定されています。そこで私が思う桂坂小学校での防災の心がまえは「桂坂小学校にいる間に大雨が降って家に帰れないようになった場合は、体育館や西側と北側の低い場所は安全な場所ではないので避難してはいけません。校舎のなるべく高い場所に移動して避難する。」にしておきたいと思います。

私は今、小学校6年生です。もし私が通っているうちに土砂災害が起こりそうな大雨が降り、学校に閉じ込められるようなことが起こったら高学年のお友達と一緒に低学年の子供達に声をかけて、校舎のなるべく高い場所に連れて行ってあげたいと思います。

いつ起こるか分からない。でもいつかきっと来る災害。友達や先生と一緒に考えながら私ができる対策をとっていきたいと思います。

「 地域を、命を、災害から守るために 」

京都府 舞鶴市立加佐中学校 3年 眞下 穂香

全国に豪雨をもたらした台風7号により、私の住む久田美地区は大きな被害を受けた。8月14日の深夜、雷と激しい雨が降り続いた。夜なのに辺りが明るくなるほどの光と、普段の雷の音とは違う「ドカーン」という、雷が落ちたであろうと思われる大きな音が何回も響いた。はじめは何とも思っていなかったが、時間がたつにつれ、雷と雨の激しさが増していき、とても怖くなった。だが、「そのうち収まるだろう。」と思って、そのまま寝た。

後で知ったことだが、14日深夜から15日未明にかけては土砂災害警戒情報や、記録的短時間大雨情報が発表されていたそうだ。そして、私の住む久田美を含む加佐地区には避難指示も出ていたそうだ。

15日の朝に起きると、雨は昨夜ほど激しくはなく、落ち着いた様子だった。私の家の前は、被害といった被害はなかった。

しかし、その日、用があったので、車で外出しようと少し進むと、一面が茶色く、道路に大きな木が流れついていて、流れ出した土砂が川の近くの畑にたまっていた。家が浸水していたり、土砂が家の中に入っていたり、大きな木が橋に引っかかっていたりしていた。また、橋が落ちたり、落ちてはいるものの変形して車が通ることが危険な状態になったりしていた。その光景を見た時、あまりのひどさに鳥肌が立った。私が生きてきて初めての経験だった。

14日深夜からの大雨により、川の上流で土砂崩れが起き、山の奥から流れてきた多くの土砂や流木によって川がせき止められ、川が氾濫していたのだった。

私の家の前では氾濫こそしなかったが、いつも見えていた川底の景色が、土砂により見えなくなるほど、たくさんの土砂が流れてきていた。

私は、自分の住む地域がこんな被害に遭うことはまずないだろうと思っていた。由良川の流れる舞鶴市加佐地区は、水害の多い地域ではあるが、毎回「浸水するならこの場所」とおおよそ見当がつく。それに由良川には大きな堤防ができたり、浸水しやすい場所は川を拡張する工事も行われたりして、災害に備えられてきた。だから、大きな災害が起こる可能性はないだろうと思っていた。

しかし、いつもはほとんど被害を受けてこなかった久田美地域で、これまでにない大きな被害が出ていた。この災害で亡くなった人はいなかったが、もしその時、避難しようと外に出ていたら…橋が落ちるその時にちょうど橋の上にいると…と考えるととても怖い。

このような災害から命や財産を守るためにはどうしたらいいのだろう。私は、普段から災害を減らす減災の意識を持ち、命を守る意識を高めること。そして災害を他人事だと思わないことが大切だと思った。

今回の災害も、もとは全て自然現象だから完璧に防ぐことはできない。だからこそ、被害を最小限にするために、命を守るために、できることを行うことが大切だと思った。

国や行政には、土砂災害の危険区域には斜面を崩れにくくする工事や対策を進めてほしい。

個人では、例えば、増水の際には土のうを置くなどのことができる。土砂災害の場合は、ハザードマップを確認して危険なところを確認し、早めに避難したり、危険がせまったら、家の中でも、できるだけ山から離れた場所に移動したりするといったことができる。これは危険とされた場所だけではない。状況によって変化することもあるので、危険を感じるものが少しでもあったり、近くの場所が危険な状態になったりした時にも行う必要がある。今回は、浸水することなんてないだろうと思っていた私の地域で大きな災害が起きていた。だから全員が「危ないかも…」「もしかしたら…」と思うことが大切だと思った。

このように災害が起きる前の対策をとること。万が一、災害が起きた時には、自分たちにできることを行っていくことが大切だということを、今回の台風7号で改めて感じた。そして、一番大切なことは他人事だと思わないことだ。

久田美地区はもともと土砂災害特別警戒区域に指定されているが、今回の災害で川に土がたまり、増水の危険性や、土砂崩れの危険性もさらに上がったと思う。私の家の前には川、裏には山がある。危険なところを確認し、できるだけ被害を防げるような取組を、できることから少しずつ行ってみたいと思う。